

「かわさきさんのかわりに，物語のつづきを書こう！」 (13時間扱い)

教材名「わにのおじいさんのたからもの（教出2年上）」

授業者 森 紗織

1. 《単元について》

目標：「わにのおじいさんのたからもの」を読み，場面の様子について，登場人物の行動を中心に想像を広げながら読み，続きを書くために必要な事柄を集め，3年生に向けて発表会を開くことができるようにする。

教材文，「わにのおじいさんのたからもの」は，登場人物である「おにの子」と「わにのおじいさん」の「たからもの」に対する捉えの違いが明らかになったところで終わり，その後の展開に読み手の想像が広がりやすい物語である。より子供が登場人物の行動を中心に場面の様子を想像できるよう，作者である「かわさきさんのかわりに」という設定で続きを書くという言語活動を取り入れることによって，書かれていることを基に想像しながら読む力を育て，表現することへの意欲を高めていきたい。

そこで，「学びのゴールとなる学習活動」を「3年生を対象とした物語の続きの発表会」とする。これは，きっかけとしてある2年生が残した「わにのおじいさんのたからもの」読書感想メモを読むという設定から始める。メモには「物語のエンディングがすっきりしないため，どうなったのかとても気になる。どうしても続きを読みたい。どんな続きになるのか。」ということが書かれている。そのメモを受けて，自分たちで続きを書くことに取り組んでいく。学習のゴールとしては，3年生に発表会を開いて作品の出来を検証するという目的に向かう活動とする。

2. 《国語科（読むこと・文学的文章）における発達段階を踏まえた育成すべき資質・能力》

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等教科等の本質に根ざした 見方や考え方等(知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)
第一・二学年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉には，事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付いて読むことができる。 ○ 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付いている。 ○ 文の中における主語と述語の関係に注意して読むことができる。 ○ 敬体で書かれた文章に慣れている。 ○ 平仮名，片仮名，漢字を読むことができる。 ○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。 ○ 昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞いたり，知っていることを発表し合ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 場面の移り変わりに注意しながら，登場人物の性格や気持ちの変化，情景などについて，書かれていることを基に，想像しながら読むことができる。 ○ 文章の中の大事な言葉や文を見付けることができる。 ○ 文章の内容と自分の経験とを関係づけて，自分の思いや考えをまとめたり，友達と発表し合ったり聞き合ったりすることができる。 ○ 目的（楽しんだり知識を得たり）に応じて本や文章などの情報を選択して読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本や文章を楽しんだり，想像を広げたりしながら読んでいる。 ○ 楽しみながら物語の読み聞かせを聞いたり，物語を様々な方法で演じたりしている。 ○ 物語や科学的なことについて書いた本や文章を読んで，感想をもったり，仲間と伝え合ったりしている。 ○ 情報から得た知識，そこから得た考えや感想，気に入ったところを進んで伝え合ったり紹介し合ったりしている。

3. 《育成すべき資質・能力を踏まえた単元の評価規準》

個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか) 評価1	思考力・判断力・表現力等教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか) 評価2	学びに向かう力、人間性等情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか) 評価3
<ul style="list-style-type: none"> ○ おにの子やわにのおじいさんの行動を想像するときに，様子を表す言葉に気を付けて読んだり書いたりすることができる。 ○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けるとともに，場面の様子を想像しながら音読することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 場面の様子や話の順序に着目したり，登場人物の設定に着目したりしながら，それらを基に，登場人物の行動を想像しながら読むことができる。 ○ 話の順序や本文の大事な言葉や文を見付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「わにのおじいさんのたからもの」について感想をもったり，仲間と伝え合ったりして自ら進んで学びを進めている。 ○ 本を読んで得た知識，そこから得た考えや感想，気に入ったところを進んで伝え合ったり紹介し合ったりしている。

4. 《研究との関わり》

「三つの視点」を生かしたアクティブ・ラーニングの具体を以下に示す。子供が学びの連続性、必要性、関連性を自覚しながら学ぶことができるよう「学びの文脈のある単元を構想する。その中に「必要感のある協同的な学びの設定」と「目的に応じた弾力的な振り返りの設定」を位置付ける。

(1) 学びの文脈がある単元を構想

	単元開始期		単元展開期①					単元展開期②				単元まとめ期		
	1	2	3	4	5	6	7	8 (本時)	9	10	11	12	13	
課題	かわさきさんになりきって続きを書こう。		「わにのおじいさんのたからもの」を読んで、登場人物の設定や、行動について場面の様子を想像する。					作品の続きを書き、発表会の準備をする。				発表会を開いて聞いてもらおう		
開始期	○学びの見通しをもつ。 →かわさきさんのメモを読み、続きを書くという学習活動に関心をもつ		○ 場面ごとの中心となるできごとについて交流する。					○ 発表会の計画をたてる。				○ 発表会を始めるための準備や説明を行う。		
展開期	○学びのイメージをもつ →かわさきさんになりきるとい設定について話し合う。 ○続きを書くために教材文を読み、自分の感想や、「作品のすてきなところ」を発表する。		○教材文を読んで考えたことを全体で交流する。 ○場面ごとに登場人物についてわかることをまとめる。 ○終わりの方向性について考えをまとめる。 ○ 見つけた登場人物の様子や気持ちを表す言葉について交流し、登場人物についての情報をまとめる。					○話の続きを想像して文章を書き、交流する。 ○ 続きの方向性が同じメンバーでグループをつくる。 ○ グループで作品の続きを完成させる。 ○ 発表の練習をする。 ○ 「かわさきさんが書きそうか」について振り返る。				○ グループごとに発表会を行う。 ○ 感想を聞いたり、自分たちの意図について話したりする。		
まとめ期			○ 振り返りの交流の前後にワークシートに「今日の学びについて」「次の時間について」を書き込む。									○ 互いの成果を認め合い、自分の学びについて学びについてまとめる。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px auto; width: 80%;"> <h2 style="margin: 0;">かわさきさんのかわりに物語のつづきを書こう！</h2> </div>														

必要感のある協同的な学び

目的に応じた弾力的な振り返り

(2) 必要感のある協同的な学びを設定する

- 「かわさきさんのかわりに」「昨年この単元を学習済みの3年生に発表会を行って検証」という設定をすることで本文に基づいた読みが求められる上に、2年生として協同的に会を成功させなければならないという必要感をもたせる。
- 自分が見つけた登場人物の様子や気持ちを表す言葉について交流する活動を位置づける。
- 物語の続き方が同じ方向性でグループをつくり、グループで1つの作品を創って読み聞かせるという活動を位置づける。

(3) 目的に応じた弾力的な振り返りを設定する

- ワークシートを活用して交流や相互評価をする場を設定したり、ファイリングしたりすることで子供が学んだことや次の課題を考えることができるようにする。
- ワークシートの記述から子供つまずき、次への課題を把握する。
- 相手を明確に意識して読み聞かせの練習をしたり、物語の続きを書いたりすることで、いつでも振り返りながら学習を進めることができるようにする。

5. <<単元計画>>

	学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
<p>開始期 (1~2)</p>	<p>○ 「わにのおじいさんのたからものを読んだ感想メモ」を読み, 感じたことを話し合う。</p> <p>そんな風に思う人がいる話なんだ。</p> <p>どんな話か, 自分一人で読んでみたいよ</p> <p>本当にそうなのか知りたいな。</p> <p>もしかしたら続きがあるかも。</p> <p>○ 教科書本文の範読を聞き, 感想を交流したり, 作者について知ったりするとともに, どのように進めていくことがよいのか学習の見通しをもつ。</p> <p>確かによくわからないかも。</p> <p>わくわくする話だね。</p> <p>今の3年生は続きを書いたって。</p> <p>書くなら本物らしく書きたいね。</p> <p>○ 音読をしながら気が付いた作品のよさやすてきなところについて, 交流する。</p> <p>冒険するところがドキドキするよ。</p> <p>2人ともやさしいところがいいね。</p> <p>背中の中のしわのところがおもしろい。</p> <p>おにの子が正義の味方みたい。</p>	<p>◇ 「わにのおじいさんのたからもの」について感想をもったり, 仲間と伝え合ったりして自ら進んで学びを進めようとしている。 【評価3】</p> <p>☆ <u>学習の見通しをもつための, 単元のゴールを設定する。</u> 【学びの文脈】</p> <p>☆ 学習のイメージをより具体的に持つことができるよう, 範読を工夫したり, 作者や作品について紹介したりする。</p> <p>☆ 学習の見通しをより明確にもつことができるよう, 単元計画を掲示する。</p> <p>◇ 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けるとともに, 場面の様子を想像しながら音読している。 【評価1】</p> <p>☆ 音読の前後に自由に考えを交流する場を設定したり, 音読の形態を工夫したりする。</p>
<p>展開期① (3~7)</p>	<p>○ 登場人物の行動と気持ちについて順番に整理しながら, 場面ごとの中心とできごとについて交流する。</p> <p>すごく時間をかけて埋めたんだね。</p> <p>わにさんって言えばいいのに</p> <p>帽子はどういうことなんだろう。</p> <p>どうして知らないことだらけかな。</p> <p>夕焼けを宝物だと思うおにの子だから, この後どうしたかな。</p> <p>○ 物語の続き方の方向性について考えをまとめる。</p> <p>おじいさんにお礼に行くよね。</p> <p>おじいさん死んじゃうかも。</p> <p>おにの子は何て言うかな。</p> <p>悪い人から宝物を守るのかな。</p> <p>かわさきさんなら, どう書くのかな。書くのは大変だから, 友達と一緒に考えたいな。</p>	<p>◇ 登場人物の行動を想像するときに, 様子を表す言葉に気をつけて読んでいる。 【評価1】</p> <p>☆ 順序を意識したり, 自分の考えを表現し, 他者と交流したりすることができるよう, ワークシートを用意する。</p> <p>◇ 物語の続きを書くために, 場面の様子に着目したり, 登場人物の設定に着目したりしながら, それらを基に, 登場人物の行動を想像しながら読んでいる。 【評価2】</p> <p>☆ <u>作者になりきって物語の続きを書くために, 考えを交流したり, 共通点や相違点について話し合う場を設定する。</u> 【必要感のある協同的な学び】</p>

<p>展開期② (8 ~ 11)</p>	<p>○ 自分で考えた物語の続き方を交流し,その考えが本文とあっているか考える。</p> <p>夕焼けがすばら しかったと教える。</p> <p>もう一度,探しに 行くことになるよ。</p> <p>宝物が増えたと 2人で喜ぶかも。</p> <p>おじいさんは死 んじょうかもね。</p> <p>どれも,本当にありそうな続き方だね。 続きを書くのが楽しみになったよ。</p> <p>○ 物語の続き完成させ,発表会の準備をする。</p> <p>きっとここで帽 子をかぶるよ。</p> <p>笑って終わりに しようよ。</p> <p>どうしてこの続き方にしたのか,説明も した方がわかりやすいかも。</p> <p>読み方も工夫した方が,本物の続きみた いに聞こえそうだね。</p>	<p>◇ 物語の続きを書くために,本文の大事 な言葉や文を見つけることができる。 [評価2]</p> <p>◇ 本を読んで得た知識,そこからも った考えや感想,気に入ったところ を進んで伝え合ったり紹介し合っ たりしながら物語の続きを書いてい る。 [評価3]</p> <p>☆ 自分の考えを書いたり,友達の考え と比べて考えることができるようワ ークシートを用意したりする。</p> <p>☆ <u>相手を意識した作品作りができる よう,観点を明確にした評価シートを 用意する。</u> <u>自分の学びを振り返り,修正・改善・自 信を深めるために話し合ったり交流し たりする場の設定</u></p>
<p>まとめ期 (12 ~ 13)</p>	<p>○ 3年生を招待して発表会を行う。</p> <p>「ありそうだね」っ て言ってもらえたよ。</p> <p>3年生が前に考え たのと似ているって。</p> <p>かわさきさんが書いたみたいだねって 言われてうれしかったよ。</p> <p>○ 感想を交流したり,自分の学習の振り返 りを行ったりする。</p> <p>他のグループの 作品も好きだな。</p> <p>なんとか完成し てよかったよ。</p> <p>友達とたくさん話して作ったから,大変 だったけど,楽しかったね。</p>	<p>◇ 「わにのおじいさんのたからもの」 について感想をもったり,仲間と伝 え合ったりして自ら進んで学びを進 めている。 [評価3]</p> <p>☆ <u>協同的に学ぶことのよさを実感で きるよう,互いの評価をしたり,自 分の学びを振り返ったりすることが できるような場を設定する。</u></p>

6. 《本時案》 本時 8/13

本時の目標 これまでに読みとってきたことを活用しながら物語の続きを考えることができるようにする。

学習活動（○）と子供の姿	教師の支援（☆）と評価（◇）
--------------	----------------

○ 単元の計画に基づいた振り返りを行い、本時の学習の見通しをもつ。	☆ <u>学習の見通しをもてるよう、単元計画を確認したり、物語の順序や登場人物の気持ちの変化・情景描写について掲示したりする。</u> 【目的に応じた弾力的な振り返り】
-----------------------------------	---

友達の考えを聞いて、続き方メモを完成させよう。

○ 物語の続き方メモの方向性を整理し、自分の立場と考えの根拠を明らかにする。

おじいさんにお礼を言いに戻ると思うな。	足下に埋まっている宝物を見つけると思うな。
他の人のたからものももらうってすごいことだよな。	夕焼けが盗られないように逃げるのは変だと気が付くよ。
こんなにいろいろな考えがあるんだね。どんなメモを書いているのか見てみたいな。	

○ 物語の続き方メモを交流する。

おじいさんは、宝物の感想を聞くと思うよ。	宝物とはどんなものなのか考えるよね。
おにの子の家はおじいさんと会ったところの近くのはず。	夕焼けもきれいだから両方が宝物と考えると思うな。
みんなすごい考えているな。自分のメモをもう一度見直してみよう。	

○ 交流を振り返りながら、物語の続き方メモをもう一度考える。

やっぱり戻る方が自然な感じがしてきた。	おじいさんの気持ちを考えたら、やっぱりもう一度行くよね。
続き方メモが完成したよ。友達の意見を聞いて前よりよくなったと思う。	

○ 今日の学びの振り返りをする。

○○さんの話を聞いてセリフを書き換えたよ。	同じ感じなのに理由が違ったから、また考えてみたよ。
少し心配だったけど僕と同じ考えがあって自信になったよ。	物語が書けそうな気がするよ。みんなの考えが聞けてよかった。

◇ 物語に対する考えや感想を生かしながら自分の考えを交流し、物語の続きを考えている。

【評価2】

☆ 物語の続き方メモの方向性を整理することができるよう、根拠や立場を明らかにすることを働きかける。

☆ 立場や根拠を明らかにする手立てとしてこれまでの学習のノートやワークシートを確認をすることを促す。

☆ 立場や根拠が明確になったことで他の人のメモがどうなっているのか知りたいという子供の思いを大切にし、メモを自由に交流する場を設定する。

【必要感のある協同的な学び】

☆ 交流結果を生かすとともに、変更した箇所がより明らかになるように色を変えて書き込むこむことを促す

【目的に応じた弾力的な振り返り】

☆ 次の学習への意欲を高め、見通しをもつことができるよう、協同しながら学んだよさを実感したり、根拠を明確にしながら考えている子供の発言を取り上げて賞賛する。